

令和8年度第2回花巻市廃棄物減量等推進審議会（会議録）

1. 開催日時

令和8年3月27日（金）午後2時30分～午後3時15分

2. 開催場所

花巻市生涯学園都市会館（まなび学園）3階 第2・第3中ホール

3. 出席者

(1) 委員出席者 10名

渋谷晃太郎委員（岩手県立大学シニア・フェロー）、高橋文一委員（㈱今弘商店代表取締役社長）、伊藤美智子委員（花巻商工会議所女性部監事）、五内川悟委員（花巻温泉郷廃棄物処理組合監事）、菅原志麻委員（花巻商工会議所企画振興課長）、小原得幸委員（花巻地域公衆衛生組合連合会会長）、清水正浩委員（大迫地域公衆衛生組合亀ヶ森第4公衆衛生組合長）、菊池良治委員（東和地域公衆衛生組合連合会会長代理）、今野睦委員（花巻地区廃棄物処理組合事務局）、鎌田愛子委員（花巻市地域婦人団体協議会副会長）

(2) 委員欠席者 4名

照井正人委員（いわて生協コープ花巻あうる店長）、平賀勝利委員（花巻市清掃㈱）、小國奎馬委員（花巻青年会議所理事長）、高橋進委員（石鳥谷地区公衆衛生組合連合会理事・副会長）

(3) 市側出席者 1名

小原勝市長

(4) 事務局 7名

重茂猛（市民生活部長）、雪下清規（生活環境課長）、高橋祐司（下水道課長）、小田島愛（生活環境課長補佐）、佐藤和幸（花巻市清掃センター副所長）、松田聖実（資源循環係長）、渡邊堯史（資源循環係主査）

4. 会議成立報告等

資料確認、会議成立報告

5. 会議内容

(1) 開会

○松田資源循環係長

ただいまから「第2回花巻市廃棄物減量等推進審議会」を開会いたします。はじめに、小原市長からご挨拶申し上げます。

(2) あいさつ

○小原市長

お忙しい中、第3次花巻市一般廃棄物処理基本計画（案）に関する第2回廃棄物減量等推進審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。本日は、第1回審議会でご審議いただきました計画（素案）について、審議会の皆さまやパブリックコメントにおいていただいたご意見を反映いたしました計画（案）について諮問させていただきます。本計画案は、ごみの発生抑制や減量、食品ロス対策、生活排水処理などの包括的な廃棄物対策を盛り込み、SDGsの考え方を踏まえながら循環型社会の形成を目指すものであり、県や岩手中部広域行政組合の計画と整合を図ったものがございます。委員の皆様方には忌憚のないご意見をいただき、より良い計画としたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。

(3) 諮問

○松田資源循環係長

続きまして、第3次花巻市一般廃棄物処理基本計画案について、諮問させていただきます。

○小原市長

花巻市廃棄物減量等推進審議会条例第2条の規定に基づき、第3次花巻市一般廃棄物処理基本計画（案）について貴審議会の意見を求めます。よろしく願いします。

○松田資源循環係長

ありがとうございます。誠に申し訳ございませんが、市長は公務のため退席させていただきます。ご了承をお願いいたします。

(4) 会長あいさつ

○松田資源循環係長

それでは、ここで渋谷会長からご挨拶をお願いします。

○渋谷会長

みなさん、こんにちは。ただいま、市長から諮問をいただきました。よりよい計画をつくり答申してまいりたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

(4) 議事

①報告

○松田資源循環係長

それでは、花巻市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項の規定により、会長が議長となることとされておりますので、渋谷会長をお願いいたします。それでは、渋谷会長、よろしくお願い致します。

○渋谷会長

それでは、さっそく、議事に入らせていただきます。次第5（1）報告でございます。パブリックコメント等における意見募集結果について、事務局からご説明をお願いします。

○雪下生活環境課長

生活環境課の雪下でございます。着座にてご報告させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

当該計画（素案）につきましては、令和8年2月3日から3月6日までの期間、市の公共機関や市ホームページにおいてパブリックコメントを実施し、1件のご意見をいただきました。また、市内関係団体等との意見交換会を開催し、ご意見をいただきました。パブリックコメント及び関係団体等との意見交換会における、ご意見の内容と市の考え方等につきましては、この後、次第5（2）審議においてご説明申し上げます。以上で報告を終わります。

②審議

○渋谷会長

ありがとうございました。続いて、次第5（2）審議に入ります。

先ほど、第3次花巻市一般廃棄物処理基本計画案につきまして、市長から諮問をいただきました。前回の審議会におきましては、委員の皆さま方から多数ご意見をいただいておりますので、これについて事務局でまとめております。また、パブリックコメント等の結果も踏まえて計画案に反映しているということになりますので、それらを中心に審議を進めてまいりたいと思います。それでは、事務局からご説明をお願いいたします。

○雪下生活環境課長

それでは、ご説明させていただきます。

資料の順番が前後いたしますが、最初に資料No.4の事務局修正をご覧ください。前回の審議会以降、事務局において改めて計画素案の内容を精査し、修正を加えた箇所についてご説明いたします。資料No.4の事務局修正をご覧くださいながら、一般廃棄物処理基本計画案もご参照ください。

資料の左端に記載の番号順でご説明いたします。No.1、第3章ごみ処理基本計画について、計画案27ページ、28ページでございます。5他市町村との比較につきまして、表中の「人口1人当たり年間処理経費」の「評価」において、素案では、「平均と比較して多い」としておりましたものを、「平均と比較して少ない」と修正いたしました。次に、No.2、計画案の35ページについて、前計画の達成状況、施策5④人口減少・高齢化への対応につきまして、進捗状況をバツ、取組内容を無しとしておりましたところ、取組内容を2件追記いたしまして、進捗状況を△といたしました。次に、No.3からNo.7、第5章、生活排水処理基本計画についてでございます。計画案82ページの、2生活排水処理の数値目標につきましては、花巻市下水道事業経営戦略と整合を図り、数値目標値を修正いたしました。同じく、表5-8及び図5-4の生活排水処理形態別人口の内訳、計画案83ページ、表5-9及び図5-5し尿・浄化槽汚泥収集量見込みを修正しております。事務局においての修正は以上の箇所となっております。

ます。

続きまして、資料No.1をご覧ください。こちらは、前回の審議会において、委員の皆さまからいただいたご意見を記載してございます。当日、ご説明した項目は省略させていただき、計画案に反映させたものについてのみ、ご説明させていただきます。資料の左端、意見No.15、計画案48ページ、第3章第3節、ごみ処理基本計画についてでございます。基本方針1につきまして、岩手中部広域行政組合や岩手県におけるごみ処理に関する考え方と整合を図る必要があるとのご意見を頂戴いたしました。計画素案においては3R（スリーアール）の推進によるごみ減量化と資源化を基本としておりましたが、岩手中部広域行政組合が推進する、ごみの発生回避「リフューズ」や岩手県が推進する、資源循環の取組を推進する3R+リニューアブル（再生不可能な資源を再生可能な資源へ置き替える）の視点を踏まえた取組を推進することで、更なるごみ減量化と資源化を目指すこととし、基本方針1に朱書きの部分を追記したものでございます。次に、意見No.21、計画案55ページの基本方針1、施策3の取組②分別徹底によるリサイクルの促進について、雑がみの分別徹底に関する啓発活動を、具体的にわかりやすく表現してはどうかとのご意見を頂戴いたしましたので、広報紙等を活用し日常生活で意識しやすい取組を分かりやすく周知するなど、具体案として朱書きの部分を追記いたしました。続きまして、意見No.23、計画案は57ページ、基本方針1、施策5の取組②公共施設における資源化の推進について、市役所でも既に実施している取組であり、新規として記載する必要はないとのご指摘のとおりでございますので、【新規】を削除いたしました。次に、意見No.25、計画案の60ページ、基本方針2、施策8の取組①市民総参加早朝一斉清掃の推進につきましても、既に実施している事業であり、新規として記載する必要はないとのご指摘のとおりでございますので、【新規】を削除いたしました。同じく施策8、取組②の不法投棄の未然防止につきまして、最重要課題として捉え具体的な施策を盛り込んでほしいとのご意見を頂戴いたしました。本市においては大規模な不法投棄事案は発生していないものの、道路沿い等への不法投棄は依然として見受けられることから、重点巡回や看板・監視カメラの設置の増設など、具体案として朱書き部分について追記いたしました。こちらは意見No.26を反映させたものです。次に、意見No.28、計画案63ページの基本方針4、施策10の取組③、災害廃棄物の処理体制の構築について、災害廃棄物仮置き場の候補地は既に市災害廃棄物処理マニュアルに記載されておりますことから更に検討する必要はないとのご指摘のとおり、既に実施されております事業でございますので、朱書きのとおり修正いたしました。

続きまして、資料No.2、パブリックコメントの意見等についてご説明いたします。計画素案に関するパブリックコメントで頂戴したご意見の内容といたしましては、第3章ごみ処理基本計画、基本方針1の施策3、市民が進めるリサイクルにつきまして、ご意見を読み上げます。「我が家では、雑がみも分別しており、段ボールや空き缶と一

緒にスーパーや福祉作業所の資源回収に持っていきます。子ども会の資源回収でも集めていますが、家には回収日までに保管しておくスペースがないので、こまめにスーパーや福祉作業所まで持っていくことに負担を感じています。もっと手軽に排出できる場所や機会があると便利だと思います。」とのことでした。これに対し、市の考え方としましては、段ボールや雑がみなど紙類の分別・資源化は、ごみの減量及び資源循環の観点からも重要な取組であると認識しております。今後、資源集団回収を支援するとともに、市民にとって利便性の高い回収体制の構築に向けて検討を進めてまいります。

続きまして、資料№.3、計画素案に係る関係団体等の意見等については、令和8年3月5日から3月18日にかけて、市公衆衛生組合連合会のほか3団体の皆さまからご意見をいただきました。その中で、計画素案に関するもののみ、ご説明いたします。計画案74ページ、第5章生活排水処理基本計画の第1節、生活排水処理の現状と課題における、図5-1生活排水処理フローにつきまして、分かりづらいところのご指摘をいただいたところです。こちらにつきましては、計画案に記載のとおり修正いたしました。以上で事務局からの説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○渋谷会長

ありがとうございます。ただいまのご説明は、前回の審議会でのご意見、パブリックコメント等のご意見を踏まえて計画案に反映したとのことでした。ただいまの修正等について、ご質問、ご意見がありましたら頂戴したいと思います。前回の会議でたくさんのご意見をいただいておりますが、反映されておりますでしょうか。

○清水委員

修正案については理解いたしました。不法投棄の未然防止について最重要課題として捉えていただきたいという意識はあるんですけども、計画案50ページで記載していただいた内容についてはそのとおりだと思います。もうひとつ、各地域で集積所に排出しておりますが、他地域なり他自治体の住民の方が廃棄物を持ち込むということが前からよく言われておりました。そこのところについては、それを突き詰めるのは難しいというところがございますので、関係機関等という表現の中には他の自治体も含まれるという認識をしながら情報共有を行うということで、お互いにそういった行為はやめましょうということを他の自治体の方とも話し合いをするなり、何らかの対策をしていくということが必要ではないかなと思っておりました。

○雪下生活環境課長

現状の話をさせていただきますと、報告を受けている限りでは他の自治体から持ち込まれている事例、逆に花巻市から他自治体に排出している事例はそれほど多くはありませんが、実際にそういった事例が発生することもありますので、今後も他の自治体と情報共有しながら進めてまいりたいと考えております。委員がおっしゃったとおり関係機関等の中には他自治体も含まれておりますので、今回はこの文面でいかせて

いただければと考えております。

○渋谷会長

ありがとうございます。他はいかがでしょう。

○小原委員

前回の審議会の時に、他の委員から質問がありました件で後日確認をしてお示しするとのことでしたが改めてお伺いします。計画案41ページ、第3章の(4)処理・処分に関する課題のごみ有料化の検討という件に関しまして、ごみの有料化に関連して不法投棄が有料化を図っていく過程において増えるのではないかという話があって、岩手県内でごみ有料化を実施している北上市と比べて不法投棄の量はどうかというご質問があったと思うんですけれども、北上市の不法投棄の量について花巻市との量の違いなど把握できるものがあればお話しいただきたいのですが。

○松田資源循環係長

不法投棄の量ですけれども、資料No.1の3ページ、意見No.12、令和6年度の実績といたしまして、花巻市が2.9トン、北上市が0.1トンということでお伺いしました。ただし、不法投棄物として計量している物の考え方が違う可能性があるというお話を北上市からされましたが、具体的にすり合わせまでは行っておりません。

○渋谷会長

私も北上市のごみ有料化の袋の選定委員をしていろいろ聞いているんですけれども、有料化した直後に一時的に不法投棄が増えたということですが、その後はごみの減量の効果が大きいと聞いています。それから全国的には7割くらいの市町村がごみの有料化を進めていて、東京23区も来年あたりから有料化を実施するための検討を始めたということ聞いております。全国的に有料化を実施している市町村のほうが多くて、県外から花巻に来られてなぜ有料化していないのかと思う方もいらっしゃる聞いております。ごみ有料化によってごみ減量の効果が図られているので、今後の課題としてご検討いただければと思います。

他にはいかがでしょう。ご意見は出尽くしたということでもよろしいでしょうか。

それでは、以上で第3次花巻市一般廃棄物処理基本計画案について審議を終了したいと思います。委員の皆さま方から様々なご意見をいただきましたけれども、審議会としては計画案のとおり了承するというのもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。それでは、この計画案について了承することといたします。

なお、委員の皆さまと、パブリックコメントにおきまして、特に計画を適切に推進するために必要なご意見をいただいております。雑がみの処理が十分ではないということなので、それを踏まえて審議会から意見を付けて答申したいと思います。委員の皆さま方のご意見を踏まえての意見案として作成しましたので、事務局から案を配布いただき、ご一読いただきたいと思っております。

それでは、ただいまお配りした答申書の案について事務局からご説明をお願いします。

○雪下生活環境課長

それでは、答申書案についてご説明いたします。答申する際の付帯意見といたしまして、資源循環の観点から紙類の資源化を一層推進するため、市民の主体的な取組である資源集団回収を支援するとともに、排出しやすい回収体制の整備に資する具体的施策を講ずることとしております。この付帯意見につきましては、審議会において委員の皆さまからいただいたご意見、また、パブリックコメントでのご意見を踏まえ、渋谷会長と協議させていただきました。こちらの付帯意見につきまして、適否又は要否について、皆さまのご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

○渋谷会長

ありがとうございました。こちらの文章でいかがでしょうか。加筆や修正などのご意見をいただけるとありがたいと思います。

紙類については、集める体制がまだ出来ていないので、そこから考えなければいけないということです。よろしいでしょうか。

○小原委員

付帯意見の紙類という部分ですが、紙類とひとくくりにしてはいますが、具体的に雑がみと表記する必要はないでしょうか。

○渋谷会長

これは資源集団回収についても書かれているので、雑がみだけではなく紙類としたとお考えいただければと思います。行政回収のほうでは雑がみが課題になるんですが、資源集団回収も支援するということになるので雑がみ以外の紙も入ってきます。

○小原委員

資源集団回収で回収される紙と、排出しやすい回収体制の構築がなされて回収される紙が別であると理解できるのでしょうか。委員のみなさんはこれまでの審議があったので雑がみのことだと理解できると思いますが、単に紙類とひとくくりにしてしまうと、資源になる紙と資源にならない紙とがあると思うんですけれども、紙類と言ったときにそれらの分け方はどう捉えたらよろしいのでしょうか。

○渋谷会長

いかがでしょうか。市のほうできちんと解釈していただければ問題ないんですが。

○松田資源循環係長

紙類の段ボール、新聞・チラシ、雑誌、雑がみについて、花巻市としてはこれまで回収しておらず資源集団回収若しくは店頭回収で排出するようにお願いしてきたところでございます。ご意見を頂戴し、市として考えなければいけないのは、雑がみの掘り起こしということを前回の審議会でもご意見をいただいておりますけれども、雑紙だけでなく段ボールや新聞紙、雑誌等の紙類全体について検討を進める必要がある

と考えております。

○渋谷会長

資源集団回収だけではなく、行政回収でも雑がみだけでなく段ボールなども回収できるような体制を作っていくということで紙類としたという解釈でよろしいでしょうか。

それでは、ご意見がなければこの案で意見を付して答申したいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。それでは審議会終了後、私が直接市長へ答申をお渡ししたいと思います。委員の皆さま方には貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。以上で本日の審議会に提出した議事を終了いたします。進行を事務局にお返しします。

(5) その他

○松田資源循環係長

渋谷会長、委員の皆さま、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。次に、その他といたしまして、委員の皆さまから何かございますでしょうか。

○鎌田委員

実はこの会議に参加したときに何の事だろうと思ってきましたが、市でもすごいことをやっているんだということが分かって、今度、地区の回覧で出前講座などを推進していますというチラシが回ったときに、このことなんだと思ってとてもいいことを聞いたと思いましたし、いいことをされているなとも思いました。今回の審議会で決まったことや、ごみについて再確認するために出前講座もどんどんやっていただいたり、コミュニティ会議や区長さんたちにもこのような事業を取組んでほしいということ市からも言ってほしいなとも思いました。

(6) 閉会

○松田資源循環係長

これを持ちまして第2回花巻市廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。委員の皆さま、本日はありがとうございました。